



TRUIM
Trusted Importer

I N F O R M A T I O N

2018年2月21日 No. 000001-1

AUD-000001-1

audison

ISTINTO
INNOVATIVO

bit Nove 新商品のご案内



BIT NOVE! THE NEW AUDISON BIT PROCESSOR

bit Nove
Signal Interface Processor

音楽を聴く楽しみをもたらしてくれるテクノロジーの粋を集めたbit Nove (ビット・ノーヴェ)

2007年にbit Oneを導入して以来、デジタル・プロセッサの世界にイノベーションを起こし続けてきたAudisonブランドが独自のノウハウを受け継いで誕生したのが今回のbit Noveであり、カーオーディオ・システムを拡張してそのパフォーマンスを最大限引き出すための完璧なツールです。

bit Nove DRC 本体価格(税別) ¥80,000/台

■電源部	
電源電圧	10.8 ~ 15 VDC
作動電源電圧	7.5 ~ 14.4 VDC
アイドリング電流	0.53 A
待機電流 (DRC無/有)	1 mA/4.5 mA
リモート電圧 入力	4 ~ 15 VDC (1mA)
出力	10 ~ 15 VDC (130 mA)
オートマチックリモート入力電圧	2 ~ 7 VDC
■信号部	
高周波歪率 THD @ 1 kHz, 1 VRMS Output	0.005%
再生周波数帯域	10 Hz ~ 22 kHz
S/N 比	
マスター入力	102.0 dBA
AUX入力	101.5 dBA
オプティカル入力 IN1 / IN2 Inputs	110.0 dBA
チャンネルセパレーション @ 1 kHz	85 dBA
入力感度 ローレベル入力	1.2 ~ 8 VRMS
ハイレベル入力	3 ~ 20 VRMS
AUX入力	0.3 ~ 5 VRMS
入力インピーダンス ローレベル / ハイレベル / AUX	15kΩ/12kΩ/15kΩ
最大出力電圧 (定格) @ 0.1% THD	4 V
■入力部	
ローレベル入力	Ch1 ~ Ch6; AUX L/R
ハイレベル入力	Ch1 ~ Ch6
オプティカル入力	2 x オプティカル S/PDIF; Max 192 kHz / 24 bit

■出力部
ローレベル入力出力
■接続端子
PC 接続端子
Audison DRC AB / DRC MP 接続
オプティカル入力接続
■クロスオーバー
クロスオーバータイプ
クロスオーバーローパス
クロスオーバー周波数
フェーズコントロール
■イコライザー部 (20 ~ 20K Hz)
アナログ入力イコライザー
出力イコライザー
タイムアライメント

■接続仕様
PC 接続
PC 動作可能OS
画像出力解像度
動作可能温度
■サイズ
本体サイズ W (幅) x H (高さ) x D (奥行)mm
本体重量
※DRC AB付属

Ch1 ~ Ch9

1 x Micro USB
AC Link
2 x オプティカル入力

フルレンジ / ハイパス / ローパス / バンドパス
リンクウィット @ 12/24 dB : パターンス @ 6/12/18/24 dB
68 ステップ @ 20 ~ 20k Hz
0° / 180°

純正イコライザ自動解除
パラメトリック イコライザ, 10ポイント, 20Hz~20kHz, +/-12 dB
距離: 0 ~ 510 cm
ディレイタイム: 0 ~ 15 ms
ステップ: 0.08 ms, 2.8 cm
詳細設定: 0.02 ms, 0.7 cm

USB 1.1 / 2.0 / 3.0 Compatible
Microsoft Windows (32/64 bit): Vista, Windows 7, 8, 10
最小: 1024 x 600 pic
0 °C ~ 55 °C

130 x 34.5 x 199
0.7kg



TRUIM
Trusted Importer

トライム株式会社

〒812-0857 福岡県福岡市博多区西月隈3-3-66-6

TEL.092-986-1601 FAX.092-986-1603

url: <http://www.truim.jp>

audisonISTINTO
INNOVATIVO

Input Connectivity

ハイレベル(3~20V)、ローレベル(1.2~8V)それぞれ6チャンネルの入力を実装しており、純正/アフターマーケット問わずあらゆるタイプの入力ソースに対応することができます。またAUX RCA入力(0.3~5V)はスマートフォンやタブレットに最適で、高いクオリティを維持したままプロセッサと接続することができます。

先進的な専用PCソフトウェアを使用すれば、簡単な手順で純正ソースのフロント・チャンネルにあるシグナルを合成し、De-EQ処理を施してフラットなフルレンジのシグナルに再構築することができます。

また、192kHz/24bit対応のオプティカル・デジタル入力が2系統用意されており、多様化するデジタル・メディア・プレーヤ等、柔軟に対応することが可能となります。



Output Connectivity

出力には9チャンネルのアナログ・プリ出力が装備されており、各出力チャンネルにはパワフルなDSPによって次のような機能が備わっています:10ポイントのパラメトリック・イコライザ、68ステップの周波数調整が可能なクロスオーバー、バターワースまたはリンクウィッツ・ライリー方式のフィルタ(スロープは6~24dB/Oct)、タイム・アラインメント機能



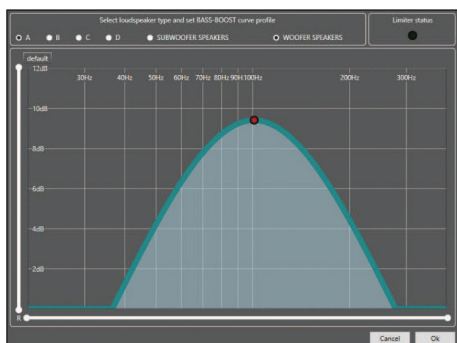
DRC AB デジタル・リモート・コントロール

DRC ABを使用すれば、PCを使わずにプロセッサのメインの機能にアクセスすることができます。ボリューム、バランス、フェダー、サブウーファー・レベルといったコントロールや、PCソフトウェアで保存したプリセット・メモリの呼び出し、マスター/AUX/オプティカル・デジタル入力の切り替えといった機能がコンパクトなリモート・コントロールから操作できます。



audison

ISTINTO
INNOVATIVO



Controlled Bass-Boost

サブウーファーおよびウーファー・チャンネルの低域のイコライゼーションは、バスブーストの機能を利用すれば、パラメトリック・イコライザの動作ポイントやレベルを自由に設定し、マウス・ホイールを使ってQ値を変えることもできます。

強めにイコライゼーションをかけた場合は、ソフト・クリッピングの機能が作動して音のひずみを防止します。

プリセット・メモリA～Dのそれぞれに対して異なるバスブーストの設定を紐付けて、DRC ABで呼び出すこともできます。



PCソフトウェア

改良を重ねたPCソフトウェアはプロセッサの設定をシンプルなものにして、設定にかかる時間を大幅に短縮します。

各チャンネルのレベル、カットオフ周波数、タイム・アライメント、イコライゼーションなどが単一のアプリケーション・ウィンドウの中で設定可能。スタンダードとエキスパートの二つのモードで操作ができます。

スタンダード・モードでは機能を制限したシンプルな設定ができ、エキスパート・モードでは全てのパラメータにアクセスして完全なカスタマイズが可能になります。

入力信号の指定や出力の構成、純正ソースのDE-EQ処理などもPCソフトのウィザードを使えば数クリックでセットアップが完了します。

Signal processing

32bit DSPおよび24bit A/D D/Aコンバータを実装

1. フロント、リア、またはフロント+リアから抽出した純正シグナルからフルレンジのステレオ・シグナルを再構築
2. 純正ソースに適用されているイコライジングをキャンセルしてフラットな周波数レスポンスに修正(DE-EQ処理)

PCソフトウェアでユーザーが希望するシステムを決定した後、各チャンネルに対して下記の機能が利用できます：

1. 選択したチャンネルのみを有効にする"solo"機能、選択したチャンネルのみを無効にする"mute"機能、位相を反転させる"phase invert"機能
2. 68ステップ、20-20kHzの周波数調整が可能なリンクウィット・ライリーまたはバターワース方式のフィルタ。スロープは6～24dB/Octで、バンドパスの場合はハイパス/ローパスそれぞれに異なるスロープを設定可能。
3. パラメトリック・イコライザ (10ポイント、+/-12dB)による補正
4. タイム・アライメント機能：
0.02msステップで、最大15msディレイ (510cm相当のバーチャルなスピーカー位置調整)

